

発電所からのお知らせ

2018年6月5日

■1, 2号機: 廃止措置中(第2段階)(2016年2月3日～)

「[浜岡原子力発電所 1, 2号機 廃止措置状況\(2017年度第4四半期\)](#)」を更新いたしましたので、ご覧下さい。

第2段階の進捗状況※1

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
廃止措置計画			▼変更認可(2月3日)※2 → 第2段階に移行						
汚染状況の調査・検討		1号機			1号機	2号機			
			▼1号機サンプル採取終了						
系統除染					1号機	2号機			
設備・機器の 解体撤去	放射線管理 区域内	1号機	▼工事着手(2月15日)※2						
		2号機	▼工事着手(2月15日)※2						
	排気筒			解体準備工事	解体工事				
	放射線管理 区域外								
希ガスホールドアップ装置建 家の解体									

- ※1 本計画については、工事の実施状況、検討・評価状況等により変更となる可能性があります。
 ※2 2016年2月3日に、廃止措置計画の変更の認可を受けました。これにより、放射線管理区域内のうち原子炉領域周辺設備の解体工事を開始しました。

2017年度第4四半期における廃止措置に係る主な進捗は、以下のとおりです。

【汚染状況の調査・検討について】

- ・2018年3月に1号機の原子炉圧力容器内および原子炉格納容器内の汚染状況調査が完了しました。調査結果をもとに原子炉領域の解体撤去方法等の検討を進めています。2号機原子炉圧力容器内および原子炉格納容器内については、2018年3月から汚染状況の調査に着手しました。

【放射線管理区域内設備の解体撤去工事の状況について】

- ・浜岡1,2号機の排気口改造工事にて取り除いた干渉物の解体撤去を2018年3月から着手しました。
- ・浜岡2号機タービン建家3階設備のうち、ラジエーションシールド(※3)の解体撤去工事に2018年2月から着手しました。

【排気筒解体撤去工事の状況について】

- ・浜岡1,2号機の排気口改造工事を2017年10月から着手し、2018年2月に完了しました。同2月から排気筒解体工事を進めており、現在、排気筒解体撤去に必要な足場の設置等を進めています。

【放射線管理区域外設備の解体撤去工事の状況について】

- ・浜岡1号機の補助ボイラの解体撤去工事を2017年6月から着手し、2018年2月に完了しました。
- ・浜岡1,2号機のインテーク屋外照明器具の解体撤去工事に2018年3月から着手しました。

※3 ラジエーションシールドとは、運転中のタービンからの放射線による被ばくを低減するために、タービン本体を覆う遮へい板のこと

- 3号機: 施設定期検査中(2010年11月29日～)・安全性向上対策実施中(地震・津波・重大事故対策等)
 - ・検査状況については、「[点検情報](#)」をご覧ください。

- 4号機: 施設定期検査中(2012年1月25日～)・安全性向上対策実施中(地震・津波・重大事故対策等)
 - ・検査状況については、「[点検情報](#)」をご覧ください。

- 5号機: 施設定期検査中(2012年3月22日～)・安全性向上対策実施中(地震・津波・重大事故対策等)
 - ・検査状況については、「[点検情報](#)」をご覧ください。
 - ・2018年6月6日、8日に、5号機補助ボイラ(注1)の検査のため、蒸気の放出を予定しています。この蒸気には放射性物質は含まれていません。なお、検査の進捗等によって日程を変更する場合があります。

- その他
 - ・浜岡原子力館の2018年5月度の入館者数は17,387人でした。また、2018年度の累計入館者数は27,935人でした。

注1 補助ボイラは、建屋内の空調設備やシャワー、洗濯等の熱源として使用する蒸気を発生させるものです。

以上